

国立精神・神経医療研究センター病院にて 身体リハビリテーション部の作業療法を受診された方へ

この度、国立精神・神経医療研究センター病院の身体リハビリテーション部で作業療法を受けた際に診療情報等の一部について、下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し診療情報を利用することにより対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。小児の方で文章理解や判断が難しい場合、保護者の方は、本説明文をお読みいただき、内容をご確認のうえ、ご判断ください。また、ご本人が説明を理解できる場合には、ご本人に内容をご説明いただき、情報の利用を希望されない場合には、その意思を尊重いたします。

1. 対象となる方

当院で小児期にてんかん外科的治療を受け2022年04月01日より本研究の実施が承認された日までの間に、身体リハビリテーション部作業療法部門でリハビリテーション訓練を受けた方

2. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：当院リハビリテーション科における小児期に外科的治療を受けたてんかん患者の実態調査—診療録調査による後方視および前方視データの統合研究—

研究期間：2025年研究実施許可受領後～2030年03月31日まで

研究代表者(研究責任者)：国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部
作業療法士 山野真弓

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等：診療録(性別、病名、手術名、入院期間、作業療法実施期間、作業療法実施内容、作業療法で行った運動機能・日常生活動作能力・生活歴・社会歴等の評価結果)

(取得方法) 電子カルテの診療録から入手

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究は、当科で入院中にリハビリテーションを実施した小児期に外科的治療を受けたてんかん患者様の属性、身体機能、日常生活活動、社会生活状況に関する評価データを診療録より収集し分析を行う横断的かつ縦断的研究です。それによって、当院作業療法部門の小児てんかん患者様に対する介入状況および手術後の生活の状況を明らかにし、小児てんかん患者および家族に対して有益な情報を提供していきたいと思っています。また今後、小児期に外科的治療を受けたてんかん患者様に対する作業療法の介入方法の妥当性を検討するための一助としていく予定です。

診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

5. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属：身体リハビリテーション部 氏名：山野 真弓

電話番号：042-341-2711（内線：7005）

e-mail：myamano@ncnp.go.jp